

**第2節 地域や家庭における環境教育や環境活動の促進**

**1 地域や家庭における環境教育や環境活動の促進【環境政策課】**

**(1) 環境アドバイザー制度\*1**

「美しい福井の環境を県民の手で守り育てる」ことを目的に、平成6年6月から、環境アドバイザー制度を導入しています。

この制度は、地域や学校、公民館、企業などが実施する環境問題に関する学習会等へ環境アドバイザーとして講師を派遣するもので、現在101名（令和4年1月末現在）の環境に関する専門家が登録されています。

学習会等の内容は、環境問題やリサイクル、省エネ、自然保護などの講座や山や海での自然体験などがあり、皆さんに楽しく環境について学んでいただいています。

この制度により、県民の環境問題への関心や環境保全に対する取組みの意識が高まってきています。

**(2) こどもエコクラブの応援**

「こどもエコクラブ」とは、環境省が、子どもたちの主体的な環境学習や実践活動を支援している環境活動のクラブです。2人以上の幼児から高校生ままでの子どもと、活動を支える1人以上の大人（サポーター）でクラブを登録することができ、学校の生徒と担任の先生、家族単位、町内の子ども会など、気軽にクラブを作ることができます。令和4年1月現在で11クラブ923人が登録しており、様々な活動を行っています。

また、全国事務局では、こどもエコクラブを対象とした壁新聞コンクールを毎年行っています。令和2年度は北陸中学校3年生が「未来に残そう私たちの海」についてまとめ、応募しました。

なお、こどもエコクラブの本県事務局を、環境ふくい推進協議会（後述）が担っており、各クラブの活動に対し、環境に関する講師派遣を行うほか、上記コンクールに対する支援をはじめ、こどもエコクラブ活動にかかる助成を行っています。

表 5-2-1 環境アドバイザー派遣実績

|      | 令和2年度  | 令和3年度  |
|------|--------|--------|
| 派遣人数 | 60人    | 69人    |
| 受講者数 | 1,030人 | 1,795人 |

（注）令和3年度は令和4年1月末時点



環境アドバイザーによる学習会



北陸中学校3年生が作成した壁新聞（令和2年度）

分野別施策の  
実施状況

環境について自ら考え  
行動する人づくり

\*1 環境アドバイザー制度：環境保全についての有識者や環境保全活動の実践者を「環境アドバイザー」に登録し、公民館、各種団体や学校等が主催する環境問題に関する学習会、講演会に講師として紹介、派遣する制度です。

## ◆第2部 分野別施策の実施状況

### (3) 環境美化運動の促進

#### ①クリーンアップふくい大作戦

地域の環境保全に関する県民意識の啓発を図ることを目的として、平成4年度から、県内一斉に住民が主体となって美化活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を実施しており、平成17年度からは、季節ごとに年4回の統一行動期間を設け、市町や自治体などが一体となって地域ぐるみの美化活動を実施しています。

これらの取り組みのほか、令和3年度は、海ごみの発生防止をテーマに、九頭竜川の上流域から下流域の住民・企業・団体などが清掃を行う「九頭竜川川ごみ一掃統一行動」を実施しました。

(実施会場：大野市、坂井市、永平寺町 ※福井市、勝山市は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止)



九頭竜川川ごみ一掃統一行動の様子  
(坂井市いざぎ親水公園)

#### ②自然公園の美化【自然環境課】

自然公園美化思想の一層の普及を図るため、環境省では8月の第1日曜日を「自然公園クリーンデー」として位置付け、全国の自然公園を対象とした大規模な美化清掃活動を実施しています。

実施にあたっては、関係市町その他の団体との連携のもと、地域の一斉清掃などを行っています。

#### ③河川環境美化、河川愛護月間【河川課】

河川環境美化については、地域住民等による活動の広報等を行う「川守」推進事業を展開するとともに、地域住民団体等が行う草刈活動への補助を行う

「地域をつなぐ河川環境づくり推進事業」により良好な河川環境の創出に努めています。

また、毎年7月の河川愛護月間には、県庁ホールにて河川愛護のパネル展を実施し、河川愛護に関する意識の啓発を行っています。

### (4) 環境教育・学習の場

県の自然保護センターや試験研究機関では、環境に関する展示や情報の提供、自然観察会等の学習機会の提供を行っています。

表 5-2-2 県の主な環境教育・学習施設

| 施設名                          | 概要   |
|------------------------------|--|
| 自然保護センター<br>(大野市南六呂師)        | ・県内の自然を紹介する展示<br>・プラネタリウム、天体観測施設<br>・自然観察会等の実施                     |
| 海浜自然センター<br>(若狭町世久見)         | ・ふれあい水槽、若狭の海湖(うみ)などを紹介する展示<br>・自然体験講座の開催                           |
| 里山里海湖研究所<br>自然観察棟<br>(若狭町鳥浜) | ・野鳥やヒシ等の自然観察ガイド<br>・簡単な工作体験や里山里海湖に関する相談受付                          |
| 衛生環境研究センター<br>(福井市原目町)       | ・環境情報コーナーでの環境関連図書、ビデオ等の資料の提供<br>・見学者の受入れ<br>・環境科学体験教室や夏休み衛生環境教室の実施 |
| 総合グリーンセンター<br>(坂井市丸岡町楽間)     | ・緑化推進のための樹木や花の見本園<br>・緑や木とふれあい、遊び学べる施設<br>・緑と花に関する講座の開催や相談受付       |
| 内水面総合センター<br>(福井市中ノ郷町)       | ・河川や淡水魚に関することなどの展示   |

**(5) 若手環境教育リーダー育成事業**

県では、次世代の環境教育を担うリーダーの育成をねらいとした「若手環境教育リーダー育成事業」を実施しています。これは、県内の大学生、短大生等で作る団体が、小学生向けの自然体験活動や省エネ活動などの環境教育に関する体験プログラムを企画・実施するもので、令和3年度は、3つの団体、25名の学生が参加しました。

各団体は、プログラム終了後、そこで得た成果や課題をまとめた動画を作成し、それらは県のホームページで公開しています。

今後も、一人でも多くの環境教育リーダーを育成できるよう努めていきます。

表 5-2-3 採択グループ一覧（令和3年度）

| 団体名       | 活動内容  |
|-----------|---|
| 光エコキャラバン隊 | ・光ファイバーや有機ELなど省エネデバイスを使った光るおもちゃ作り<br>・SDGsやエコに関する講義 |
| アドベンチャーラボ | ・大野の六呂師高原ハックルベリーの木で、自然体験、野草のしおり作り<br>・焚火でバウムクーヘン作り  |
| 仁愛大学西出研   | ・自然豊かな里山での生き物観察会<br>・人とコウノトリ、田んぼの生き物の関係を学ぶ学習会、意見交換会 |

**(6) 「せせらぎ定点観測」事業**

県内の小学生に身近な自然環境、特に河川に対する興味関心を高めてもらい、自然環境の保全を目指すことを目的として、地域の河川や用水路で水質や水生生物、景観などを調査し、河川環境の変化を確認する「せせらぎ定点観測」事業を行っています。

令和3年度は、県内の環境保全団体と協力し、7月に県内4か所の河川で調査活動を実施しました（他地区でも実施を予定していましたが、天候不順や新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ実施を見合わせました）。

「せせらぎ定点観測」実施協力団体

- ・一般社団法人 環境文化研究所
- ・NPO法人 森林楽校・森んこ
- ・NPO法人 中池見ねっと
- ・ノーム自然環境教育事務所

表 5-2-4 「せせらぎ定点観測」事業実施校および河川

| 地区  | 実施河川   | 実施日   | 参加人数 |
|-----|--------|-------|------|
| 坂井  | 竹田川    | 7月27日 | 21名  |
| 鯖丹  | 天王川    | 7月28日 | 14名  |
| 南越  | 足羽川    | 中止    | -    |
| 若狭  | 南川     | 7月30日 | 19名  |
| 二州  | 木の芽川支流 | 7月31日 | 20名  |
| 福井1 | 足羽川    | 中止    | -    |
| 福井2 | 羽生川    | 中止    | -    |
| 奥越  | 浄土寺川   | 中止    | -    |



せせらぎ定点観測の様子（竹田川）